■製造時対応オプション

遠隔操作（専用リモコン）

屋外に設置してあるコンプレッサを室内から運転-停止できます。
・故障も一括表示
・SMS専用で接続が簡単
・丈夫で水滴もOK

寒冷地仕様

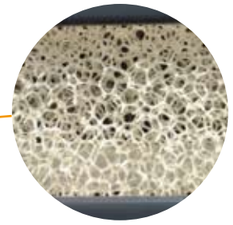
寒冷地（0℃以下）ではドレンが凍結しますので、テープヒータを装着することで凍結を防止します。
ご相談により強化対応もします。

マルチダクト

排風方向を変更することで、積雪や静音にも効果があります。
ボルト固定式ですから取り外しは簡単です。

防塵・防虫フィルタ

機内への大きなホコリや虫などの侵入を防止します。交換が簡単に行えます。



※写真はSMS55S用です

簡易塩害対策塗装

表面クリア塗装をすることで塩害による塗装劣化を抑えます。ボンネットのボルトはSUSが標準です。

■オイルフリーSMADシリーズ仕様

項目 ＼ モデル		SMAD37PD-52/62	SMAD75PD-52/62
●コンプレッサ			
形式		スクリュ回転形2段圧縮無給油式	
空気量 ※1	m^3/min	5.3	11.7
吐出圧力	MPa	0.7	
容量制御方式		二位置制御+A.C.C.S.	
吸入条件		大気圧・−15※3〜40℃	
吐出管径	A	40（1 1/2B）	50（2B）
●モータ			
出力	kW	37	75
電圧[周波数]	V[Hz]	200/200・220[50/60]	
始動方式		スターデルタ（3コンタクタ）	
●概略寸法・質量			
幅×奥行×高さ	mm	2,250×1,250×1,740	2,900×1,505×1,950
質量	kg	1,490	2,800
騒音値 ※2	dB（A）	68	69

※1　空気量は大気圧下、温度30℃での吸込み状態に換算した値です。
　　なお、空気量の保証値については別途お問い合わせ下さい。
※2　騒音値は無響音室にて前面1.5m、高さ1.2mの測定値です。
※3　寒冷地（0℃以下）でご使用の場合は、テープヒータをオプション装着する必要がありますのでお問い合わせください。

⚠ 安全に関するご注意

●圧縮空気を圧気工法や潜水作業などの呼吸用、また 直接吸引する呼吸気系の機器には使用しないで下さい。
●取扱説明書にしたがって、安全にご使用下さい。
●故障や事故を未然に防止するために、日常点検・定期点検を必ず行なってください。

●このカタログは、2010年6月現在のものです。仕様及び外観等は予告なく変更することがありますのでご了承下さい。
●印刷の関係上、塗装色など実際の製品と異なることがありますのでご了承下さい。

ISO9001/ISO14001の
認証取得工場で生産しています。

JQA-0581/JQA-EM4670

AIRMAN
お客様技術相談室
フリーダイヤル 0120-07-6364

AIRMAN、SMS、E・CON、A.C.C.S.は北越工業（株）の登録商標です。

北越工業株式会社
東京本社：東京都新宿区西新宿1-22-2新宿サンエービル
営業本部 TEL 03（3348）7251

北海道支店	011（222）1122	中部支店	0586（77）8851
東北支店	022（258）9321	金沢営業所	076（233）1152
関東支店		西日本支店	06（6349）3631
北関東営業所	027（361）1600	高松営業所	087（841）6101
新潟営業所	025（261）9001	中国支店	
東京支店	03（3348）8563	広島営業所	082（292）1122
千葉営業所	043（223）1092	九州支店	092（504）1831
横浜営業所	0462（76）2331	南九州営業所	0995（62）4166
静岡営業所	054（238）0177	沖縄営業所	098（879）3311

ホームページ　http://www.airman.co.jp

●エアマン製品のお求めは・・・

エアマン サービスセンター
株式会社エーエスシー

本社・東関東事業所	048（932）6401
東北事業所	022（259）0191
新潟事業所	0256（97）6151
西関東事業所	042（779）9666
名古屋事業所	0586（75）5521
金沢事業所	076（260）1071
大阪事業所	06（6349）3641
広島事業所	082（297）3500
高松事業所	087（844）8660

No.7 SMS 10-06①

屋外設置型
スクリュコンプレッサ
SMSシリーズ

次代への予感、未来への飛翔。
AIRMAN®

HOKUETSU INDUSTRIES CO., LTD.

エアマンは“コンプレッサ本来の省エネの基本と考えます。

コンプレッサ自身がいくら省エネになっても、コンプレッサ本来の性能を発揮していなかったらその効果は減ってしまいます。その省エネ効果を最大限に引き出すために“コンプレッサ本来の性能を発揮すること”が最大の近道と考えました。

コンプレッサでこんな事困ってませんか？

周囲温度の上昇によるオーバーヒート。

オーバーヒート

夏場になるとコンプレッサが間に合わない。

空気量減少

塵埃、オイルミスト

塵埃やオイルミストにより、フィルタの交換頻度が高い。コンプレッサオイルの劣化が早い。

増設、設置場所

1 クラス上のコンプレッサにしたいけど、設置スペースがない。増設したいけど場所が無い。

コンプレッサの本来の性能を発揮できない原因

性能を発揮すること”が

コンプレッサ本来の性能を発揮するための３大要素

1 クールな空気

圧縮機は吸込み温度が高いと空気量が減少します。
コンプレッサ室や工場内に設置すると排風はもちろんコンプレッサ自身からの熱により雰囲気温度が上昇し、吐出空気温も上昇します。コンプレッサオイルの劣化に大きな影響を及ぼす原因の一つです。

2 ダストの少ない空気

塵埃が多いと短期間でフィルタの目詰まりが起こります。フィルタの目詰まりは、吐出空気量を減少させ、ムダに圧縮機の運転をしなければなりません。また、フィルタ清掃や交換サイクルが頻繁になります。

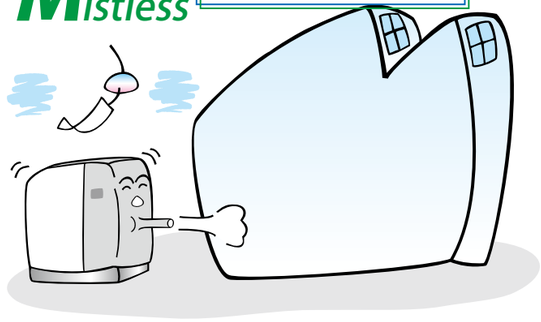
3 ミストの少ない空気

工場内の油煙やコンタミなどはフィルタの目詰まりや、コンプレッサオイルの劣化に大きな影響を及ぼします。また、クーラの目詰まりの要因になります。

コンプレッサ本来の性能を発揮するためには

Cool
Dustless
Mistless

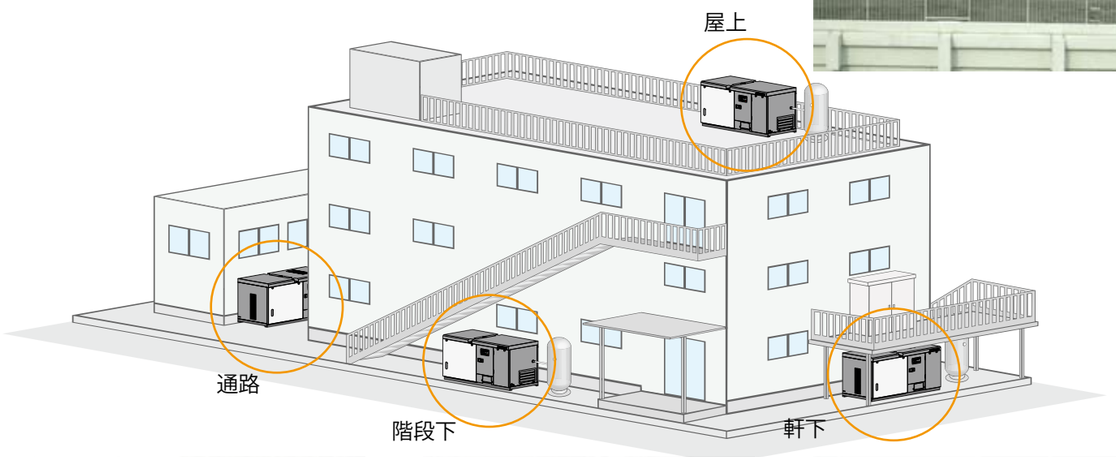
コンプレッサにやさしい環境



屋外設置が最適

屋外設置例

通路、階段下、屋上など、あらゆる場所に設置が可能です。



鋳造工場（排熱利用）　SMS22SD×1台

製造工場　SMS15SD×1台

印刷工場（屋上設置）　SMS37SD×7台

製造工場　SMS22SD×1台

屋外に設置することで、いろいろなメリットがあります。

メリット1
設置コストの大幅削減

- ダクト、換気扇が不要
- コンプレッサ室などの構造物が不要
- 空冷、ドライヤ付なので移設が簡単
- 屋外に設置できるので増設が容易
  （既設機をランクアップせずに済む）

メリット2
イージーメンテナンス

- クーラの清掃が簡単
- スピーディーなオイル交換が可能
- 簡易脱着式大型ドアで日常メンテナンスが簡単
- タッチパネルでメンテナンスをお知らせ（SMS15V～55V）
- 工場内のコンタミによるトラブルが減少

メリット3
スペースの有効利用

- 屋上を利用できる
- 通路や階段下などに設置できる
- 工場内のレイアウト変更が不要
- メンテナンススペースが確保しやすい

メリット4
工場内環境の改善

- 排熱はそのまま外気へ
- 排熱を暖房の補助利用できる（要ダクト工事）
- 工場内の空調負荷に影響を与えない
- 工場内にコンプレッサの音がこもらない
- 外気が空気源なので圧縮効率アップ

メリット5
豊富なオプション

- 寒冷地での使用可能
- 圧力変更、異電圧も対応
- 遠方操作で室内からラクラク操作

屋外設置型オイルフリー

オイルフリーの37kW（SMAD37PD）、
75kW（SMAD75PD）もご用意しています。

SMS11SD/15SD

SMS22UD

SMS37SD

SMS55SD

SMS75SD

防雨構造

電装品はIP44相当の防水ガード

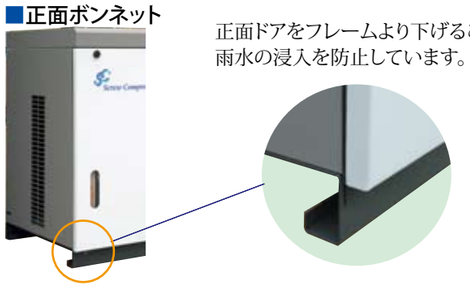
機内への雨水の浸入を最小限に食い止める専用ボンネットを採用し、制御盤やモータなどの電装品は屋外受電盤と同等のIP44相当の防水ガードを実現しました。(ボンネットはIP23相当)

■ボルトレスカバー

雨水の浸入防止するために、カバーのボルトを最小限に抑えたブラインドボルト構造を採用しました。

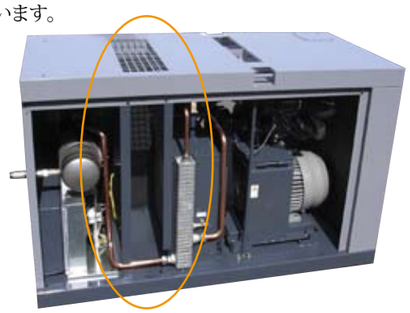
■正面ボンネット

正面ドアをフレームより下げることで雨水の浸入を防止しています。



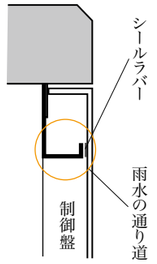
■セパレート構造

機内を3つに仕切り、排風口からの雨水が抜ける構造となっています。



レイン・トラップ・パッケージ

制御盤は雨水の通り道を設けた防水構造となっており、制御盤内への雨水の浸入を防止しています。



■独自のシールラバーを採用

機内への雨水の浸入を最小限に食い止めるのに最適なシールラバーを採用しています。

防水規格IP表示について

IEC(国際電気標準会議)やJIS(日本工業規格)では電気機器内への異物の侵入に対する保護の等級を定めています。

保護特性記号 IP○○

水の侵入に対する保護等級

0:無保護
1:垂直に落下する水滴に対する保護
2:15°の範囲で落下する水滴に対する保護
3:60°の範囲で落下する水滴に対する保護
4:全方向からの飛散水に対する保護
5:全方向からの噴流水に対する保護
6:波浪に対する保護
7:一定圧力、水深の水没に対する保護
8:完全水没に対する保護

人体および固形物に対する保護等級

0:無保護
1:50mm以上の固形物に対する保護
2:12mm以上の固形物に対する保護
3:2.5mm以上の固形物に対する保護
4:1.0mm以上の固形物に対する保護
5:防塵型
6:耐塵型

メンテナンス性

■フラットフレーム

内部の清掃に便利なフラットフレームを採用しました。

■オイルクーラ清掃

セパレート構造により、オイルクーラの清掃が容易に行えます。

■大型の脱着式ドアを採用

前面、背面には工具無しで容易に脱着ができる大型のカバーを採用しています。
カバー止めはネジ式を採用し、シール性をアップしています。

■オイルレベルゲージ

オイルレベルゲージは視認性にすぐれたアクリルを採用。取り外して清掃できる構造です。

各種装備

断熱・吸音効果

ボンネットの天井裏には騒音や温度上昇を防止する吸音材を貼っています。

ドライヤ、オートドレン内蔵

圧縮空気中の水分を除去しクリーンエアを供給するドライヤを内蔵しました。
除去した水分(ドレン)を排出するオートドレンも内蔵しています。

■プロペラファン

ホコリ、塵などに強いプロペラファンを採用しています。(SMS11～37)

※写真は撮影のためガードを外してあります。実際はベルトへの巻込みを防止するガードが付いています。

■簡単配線

電源ケーブルのつなぎ込みが簡単にできる構造です。

※写真はSMS22SDです。

■鍵付ドア

制御盤のドアには鍵を標準装備しています。運転時の制御盤への接触による感電を防止します。

パージ制御仕様　SMS-Sシリーズ

●吸気閉塞
吸い込み空気量を0～100%まで無段階に自動制御します。

●パージ制御
消費空気量が減少するとパージ運転（圧縮空気放出）を開始し動力を低減します。

●自動発停
消費空気量が約20%*まで下がると自動的にコンプレッサを停止します。
※消費側配管容積により変化します。

SMS11SD～37SDパネル

E・CON仕様　SMS-Uシリーズ

●エアマンアンローダ
アンロード運転時に吐出室の背圧を除去し、同時に圧縮室へのオイル噴射量を絞ることにより、消費動力を約20%まで低減させる超節電システムです。

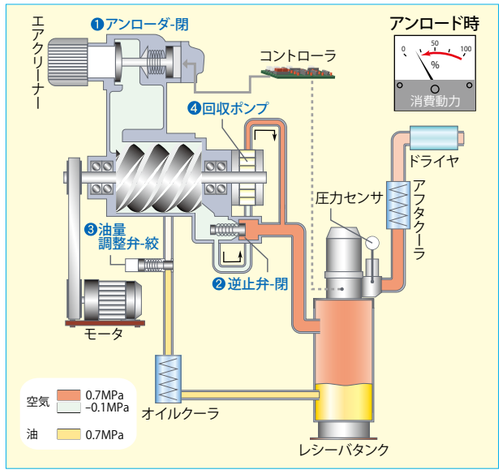
●A.C.C.S.（AIRMAN Computer Control System）［特許］
アンロード運転とフルロード運転の繰り返し時間をマイコンが演算し、アンロード開始圧力を低下させ、フルロード時の消費動力を約5%低減させる制御システムです。

●ピークアップ発停［特許］
消費空気量の増減を圧力センサにより検知し、自動停止直前の圧力を上限の最高圧力に復帰させることで停止時間をより長く保ち、再起動回数を低減させます。

●エコランプ（SMS22/37UDは除く）
アンロード運転時に点灯し、省エネ運転を知らせします。

●Eモード運転機能（最適圧力運転切替スイッチ）
使用圧力に合わせて低圧運転（0.04MPa低下）に切替え、省エネ運転ができます。

◆エアマンアンローダ作動原理



1. 圧力センサが圧力上昇を検知
2. マイコンがアンロードを指示
3. 吸入空気を遮断
4. スクリュへの油噴射量を減少（圧縮しないので冷却油は不要）
5. 回収ポンプにより吐出圧力を除去タンクからの背圧は逆止弁で遮断
6. 消費動力が約20%まで低下（エコランプ点灯）

インバータ制御仕様　SMS-Vシリーズ

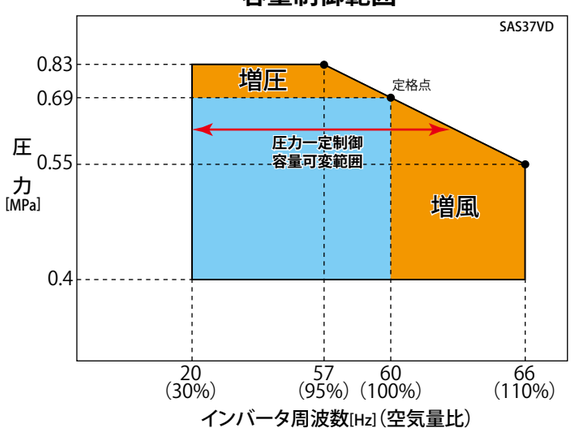
●圧力一定制御
圧力変動±0.01MPa以内の精密な圧力一定制御が可能なため、必要最低限の圧力で運転ができ、ムダな動力を消費しません。

●タッチパネル（SMS22V～55V）
各種設定や警報・異常、運転状況などがモニタ上で確認できます。

●増風機能
吐出圧力を定格圧力（0.7MPa）以下に設定すると、最高回転速度を上昇させ空気量がアップします。
また、急激に空気量が増加し、吐出圧力が低下した場合でも、回転速度を上昇させ、すみやかに復帰させます。

●増圧機能
0.7～0.83MPaまでの任意の圧力に設定可能で、設定圧力に合わせて回転速度を自動調整します。定格圧力より高い圧力が必要な場合でも、タッチパネルで簡単に設定が変更できます。

容量制御範囲



警告表示&非常停止

圧縮空気温度の異常時や過電流時にはモニタ表示すると同時に非常停止してコンプレッサを保護します。

エアフィルタ目詰まり	ドライヤ故障	シリンダ出口空気温		セパレータ出口空気温		過電流	逆相・欠相
		警報	異常	警報	異常		
○	○	○（点滅）	□	○（点滅）	□	□	□（逆相時）

○:警告表示　□:異常表示+非常停止(始動ロック)

ロングメンテナンス

■エアマン独自の長寿命合成オイル
11～37kWには「ロングライフPAO」、
55～75kWには「ロングライフHP」を充填。

11～37kW：**2年**または**12,000hr**
55～75kW：**1年**または**6,000hr**
※汚れがひどい場合には早めに交換してください。

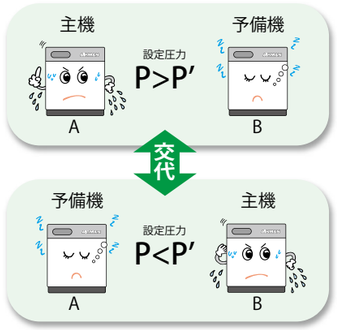
■本体オーバーホールサイクル
高負荷荷重型ベアリングの採用。

8年または**48,000hr**

※メンテナンスサイクルは使用条件により変動します。
高圧仕様はサイクルが短縮しますのでご了承下さい。

交互運転機能

高価な交互運転盤の設置、圧力スイッチが不要で、簡単な配線だけでOKです。圧力設定スイッチで高圧側と低圧側の設定を組み合わせることにより交互運転を簡単に実現します。
常にどちらかがスタンバイ状態にあるため、万が一の故障時や急激な使用空気量の増加時にも圧力ダウンを生じません。



遠方操作機能

遠方操作用の運転・停止や選択、故障およびメンテナンス警報の信号が簡単に取り出せます。

瞬停再始動機能

2秒までの停電に対して自動的に再始動します。

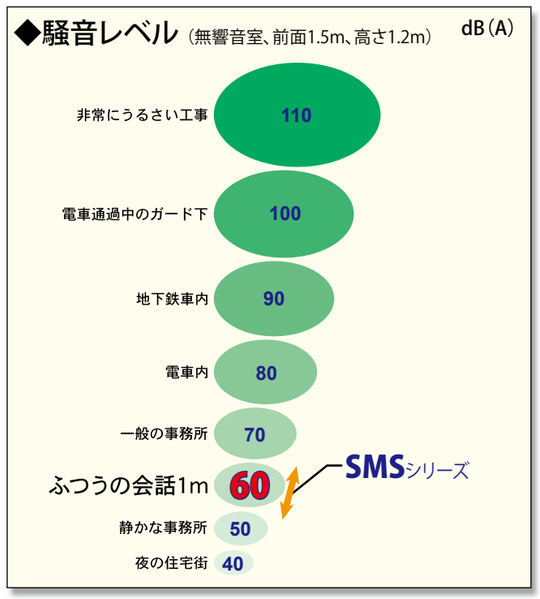
ドライヤ先行運転

ドライヤが最初に始動し、3分後にコンプレッサが自動的に始動します。

静かな運転音

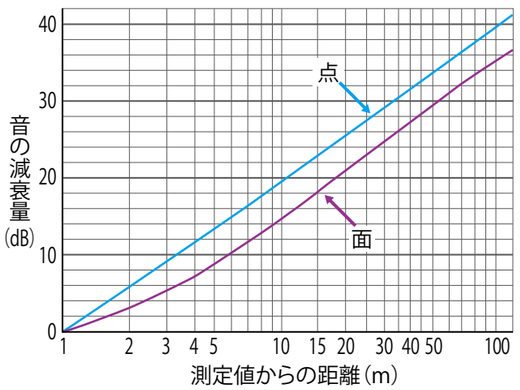
エアマン独自の防音技術により、とっても静かな運転音を実現しました。

◆騒音レベル（無響音室、前面1.5m、高さ1.2m）



音の減衰量

騒音は距離により減衰しますので下表を参考にしてください。
敷地境界線上における規制値は地方条例で定められていますので各自治体でご確認下さい。



■吸気閉塞+パージ制御仕様

項目＼モデル		SMS11SD-56/66	SMS15SD-56/66	SMS22SD-58/68	SMS37SD-58/68	SMS55SD-58/68	SMS75SD-58/68
●コンプレッサ							
形式		スクリュ回転形1段圧縮油冷式					
空気量 ※1	m^3/min	1.6[1.7][1.4]	2.1[2.4][1.9]	3.7[3.1][3.0]	6.1[5.5][5.2]	9.1[8.1]	12.4[11.0]
吐出圧力 ※2	MPa	0.85[0.69][0.88]	0.83[0.69][0.88]	0.69[0.83][0.88]		0.7[0.85]	
容量制御方式		吸気閉塞＋パージ制御+自動発停					
吸入条件		大気圧・－15※7～40℃					
初期充填油量 ※3	L	11	11	18	27	44	48
吐出管径	A	25（1B）			40（1 1/2B）	50（2B）	
●モータ							
形式		全閉外扇三相かご型誘導					
出力	kW	11	15	22	37	55	75
周波数	Hz	50/60					
電圧	V	200/200・220〔400/400・440〕					
極数	P	4					2
始動方式		直入		スターデルタ（3コンタクタ）			
●概略寸法・質量							
幅 ※4	mm	1,555（1,475）		1,860	2,080	2,390	2,665
奥行	mm	810		840	980	1,150	
高さ	mm	1,100		1,200	1,380	1,640	
質量 ※4	kg	470（435）	510（475）	765（725）	1,060（995）	1,635（1,560）	1,930（1,825）
騒音値 ※5	dB（A）	60		58	60	66	69
●ドライヤ							
入力	kW	0.49/0.57		1.15/1.43	1.4/1.8	2.2/2.6	2.9/3.6
出口空気露点 ※6	℃	10（圧力下）					
使用冷媒		R407C					

■E・CON仕様

項目＼モデル		SMS22UD-58/68	SMS37UD-58/68	SMS55UD-58/68	SMS75UD-58/68
●コンプレッサ					
形式		スクリュ回転形1段圧縮油冷式			
空気量 ※1	m^3/min	3.7[3.1][3.0]	6.1[5.5][5.2]	9.1[8.1]	12.4[11.0]
吐出圧力 ※2	MPa	0.69[0.83][0.88]		0.7[0.85]	
容量制御方式		エアマンアンローダ+A.C.C.S.			
吸入条件		大気圧・－15※7～40℃			
初期充填油量 ※3	L	18	27	44	48
吐出管径	A	25（1B）	40（1 1/2B）	50（2B）	
●モータ					
形式		全閉外扇三相かご型誘導			
出力	kW	22	37	55	75
周波数	Hz	50/60			
電圧	V	200/200・220〔400/400・440〕			
極数	P	4			2
始動方式		スターデルタ（3コンタクタ）			
●概略寸法・質量					
幅 ※4	mm	1,860	2,080	2,390	2,665
奥行	mm	840	980	1,150	
高さ	mm	1,200	1,380	1,640	
質量 ※4	kg	765（725）	1,060（995）	1,635（1,560）	1,930（1,825）
騒音値 ※5	dB（A）	58	60	66	69
●ドライヤ					
入力	kW	1.15/1.43	1.4/1.8	2.2/2.6	2.9/3.6
出口空気露点 ※6	℃	10（圧力下）			
使用冷媒		R407C			

■インバータ制御仕様

項目＼モデル		SMS22VD-8	SMS37VD-8	SMS55VD-8	SMS75VD-8
●コンプレッサ					
形式		スクリュ回転形1段圧縮油冷式			
空気量 ※1	m^3/min	3.9～3.1	6.5～5.2	10.2～7.8	12.4～10.8
吐出圧力 ※2	MPa	0.4～0.83		0.4～0.85	
容量制御方式		インバータ制御			
吸入条件		大気圧・－15※7～40℃			
初期充填油量 ※3	L	18	27	44	48
吐出管径	A	25（1B）	40（1 1/2B）	50（2B）	
●モータ					
形式		全閉外扇三相かご型誘導		全閉外扇永久磁石式三相同期	
出力	kW	22	37	55	75
周波数	Hz	50/60共用			
電圧	V	200/200・220〔400/400・440〕			
極数	P	4		6	
始動方式		インバータ			
●概略寸法・質量					
幅 ※4	mm	1,880	2,175	2,500	2,665
奥行	mm	925	1,030	1,220	1,150
高さ	mm	1,235	1,405	1,640	1,640
質量 ※4	kg	805	1,160	1,675	1,950
騒音値 ※5	dB（A）	56	60	66	69
●ドライヤ					
入力	kW	1.15/1.43	1.4/1.8	2.2/2.6	2.9/3.6
出口空気露点 ※6	℃	10（圧力下）			
使用冷媒		R407C			

※1　空気量は大気圧下、温度30℃の吸込み状態に換算した値です。なお、空気量の保証値については別途お問い合わせ下さい。　※2　高圧仕様は製造時対応オプションです。
※3　当社純正潤滑油を必ずご使用下さい。　※4　幅、質量の（　）内はドライヤ無し仕様の値です。　※5　騒音値は無響音室にて前面1.5m、高さ1.2mの測定値です。
※6　出口空気露点は雰囲気温度30℃の値です。　※7　寒冷地（0℃以下）でご使用の場合は、テープヒータをオプション装着する必要がありますのでお問い合わせください。

設置上の注意

設置場所について

設置の場所は周囲に十分な広さを持ち、機械の点検、整備が簡単にできる必要があります。

- ●通風が良く、温度、湿度が低く、周囲ができるだけ乾燥している場所に設置して下さい。屋内で高温の場所に設置する場合は換気ファンなどを設け、周囲温度が40℃以上にならないようにして下さい。
- ●ほこりが少なく、常にきれいな空気を吸入できる場所を選定して下さい。ほこりの多い場所で使用する場合は防塵フィルタを取り付けて下さい。
- ●機械の周囲、上部に吸排気および点検整備のためのスペースを確保してください。機械の後ろ側もできるだけ開けるようにしてください。
- ●本機の振動は極めて少ないため、周囲に悪影響を与える恐れはほとんどありませんが、地盤は総重量に耐える十分な強度が必要です。
- ●床面との間にすき間があると騒音、振動の原因となりますので注意してください。

配管について

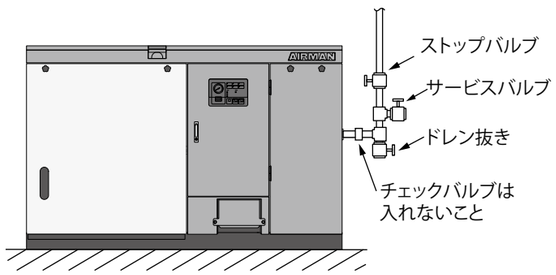
- ●配管途中には低い部分は作らないでください。また、凹部や立上がり配管がある場合には必ず下部にドレン抜きを設けてください。
- ●ドライヤ無し仕様の場合、ドレン除去のためエアフィルタ（市販）を取り付けてください。
- ●ドレン抜きを設けて吐出主管からコンプレッサ側へのドレンの逆流を防止してください。
- ●試運転やコンプレッサ調整点検のために、吐出主管にはストップバルブを設け、さらにストップバルブとコンプレッサ間にはサービスバルブを設けてください。
- ●全機種ともチェックバルブを内蔵しています。したがって、コンプレッサから先の配管途中にはチェックバルブを設けないでください。もし、チェックバルブを設けた時は「自動発停」運転の効果が十分に得られなくなることがあります。また、複数のコンプレッサを並列配管する場合も同様です。
- ●コンプレッサから先の圧縮空気配管は、できるだけ曲がりや継手バルブを少なくして、圧力損失を少なくしてください。

電源について

一般的な電源、ケーブルは下表の通りです。実際には電源事情を考慮し、内線規程、電気設備の技術基準、電力会社の規程などに従い選定してください。

モデル名	遮断器 定格電流(A)	電磁接触器 ねじサイズ	電線太さ (mm^2)	アース線径 (mm^2)
SMS11SD	125（直入）	M6	14	14
SMS15SD	150（直入）	M6	22	14
SMS22SD	150（Y-△）	M10	38	14
SMS37SD	300（Y-△）	M10	60	22
SMS55SD	400（Y-△）	M10	100	22
SMS75SD	600（Y-△）	M12	150	38

※電源電圧200/220Vの数値です。
※電線の太さは長さ10m、1台接続の数値です。



関連法規

労働安全衛生法に基づくもの

ボイラおよび圧力容器安全規則（第二種圧力容器）

- ●最高圧力0.2MPa以上で内容量40L以上の容器
- ●最高使用圧力0.2MPa以上で胴内径200mm以上でかつ胴長1000mm以上の容器

重要保管書類

届出の必要はありませんが、重要書類につき必ず大切に保管してください

- ●第二種圧力容器明細書（原本）
- ●取扱説明書

設置・使用に関して

- ●圧力容器改造の禁止
- ●第二種圧力容器明細書（原本）の保管
- ●安全弁の吐出し圧力の調整
- ●圧力計は、最大目盛が最高使用圧力の1.5～3倍で、最高使用圧力の位置に見易い表示があるものを使用する
- ●年1回以上容器の内外面の掃除及び下記の定期自主検査を実施、記録を3年間保管する
  - ・本体の損傷の有無
  - ・ふたの締付ボルトの磨耗の有無
  - ・管および弁（止め弁、安全弁）の損傷の有無

環境に関するもの

騒音規制法・振動規制法

7.5kW以上の空気圧縮機が対象になっていますが、都道府県市町村の条令により別個の規制基準を定めている場合がありますので、詳細は区市町村役場へお問い合わせ願います

届出書類

該当する圧縮機の設置に当たっては、以下の事項を所轄の市町村長に、設置工事開始日の30日前までに届け出なければなりません

- ・特定施設設置届出書　・工場付近の見取図
- ・空気圧縮機の配置図　・騒音防止の方法説明書

設置・使用に関して

- ●工場または事業所の敷地境界線上での騒音（振動）がその地域の規制値以下であること

高圧ガス保安法について

高圧ガス取締法の改正

この法律は高圧ガスによる災害を防止するために制定されたもので、従来は圧力10kgf/cm^2以上で、かつ1日の容量が30m^3以上の高圧ガスを製造する場合は、許可などを必要としましたが、平成8年の法改正により名称が“高圧ガス保安法”に改称され、圧力が5MPa以上になったため、これに関する申請、届出は不要となりました